

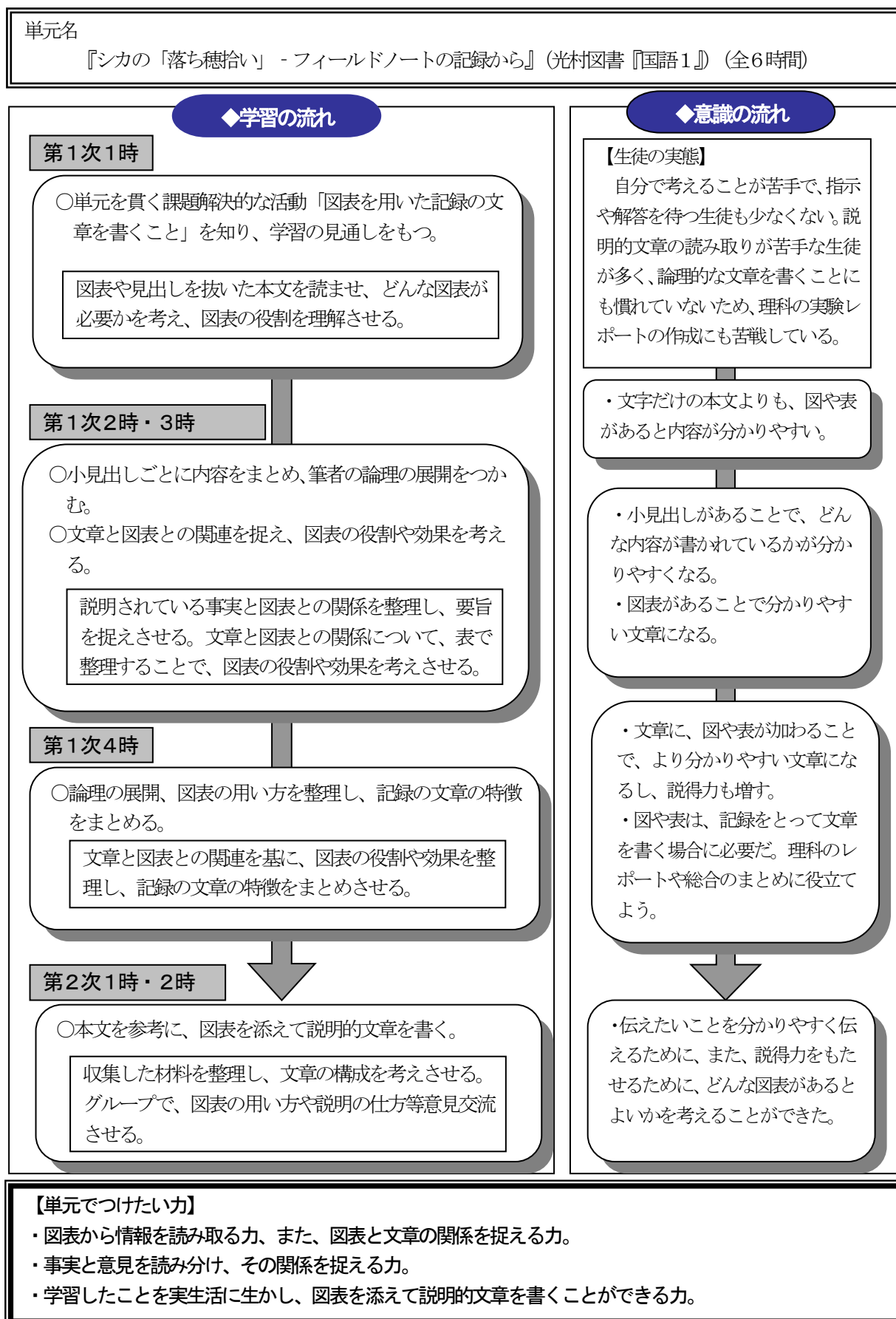
# 第1学年国語科 学習指導案

平成28年10月24日(月) 第5校時

高知市立愛宕中学校1年4組 生徒数36名

指導者 菊池 園

## 1 単元構想図



## 2 単元について

### (1) 単元観

生徒が日々の生活で読む様々な文章には、説明や記録の文章も多く存在する。また、学校生活や社会生活の中で、自分たちが調べたり体験したりしたことを正確に、わかりやすく人に伝えなければならない場合も多く存在する。その記録や説明の文章には、図表が使われていることが多く、書き手が伝えたいことをより正確に読み取る、また、伝えるためには、文章と図表の関係性や図表の役割とその効果を理解することが重要である。

本単元は、シカの採食行動について興味を持った筆者が、実際の研究過程に沿って、観察→仮説設定→検証→考察という構成で記録的に記述した文章であり、C(1)イにある「文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見など」を読み分けやすい文章になっていると考える。また、図表が多く使われていることから、示された図表から情報を読み取るだけでなく、文章と図表との関連や図表の役割とその効果についても考えさせることで、C(1)エ「文章の構成や展開、表現の特徴を分析的にとらえ、その工夫や効果について自分の考えをもつ」ことにつなげたい。

また、言語活動例B(2)イ「図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと」を位置付けることで、教科書教材を使って読む学習の際に身に付けたことを、実際のデータを基にし、個人で説明的文章を書く際に生かしていくことができるようにしたい。

### (2) 生徒観

平成28年度の標準学力調査では、「国語への関心・意欲・態度」は70.5%、と期待正答率よりも2.2%高い。しかし、学年当初に行ったアンケートでは国語が好きと答えた生徒は、約4割であった。また、読むことの領域では、目標値を2.7%上回っているが、説明文の内容の読み取りのうち、「文章の構成や展開を捉えることができる」は2.2%、「文章の展開に即して要旨を捉えることができる」は1.4%、全国正答率から低い。「書くこと」の領域については、全国正答率を上回る問題はゼロである。

実際、本学級の生徒は、1学期に「ダイコンと大きな根？」で接続詞に着目して「段落の役割」「段落と段落のつながり」を考える学習をしたが、接続詞の働きを十分に理解しているとは言えない。接続詞や指示語、一つ一つの言葉にこだわって文章を読み解いていくのは物語的文章、説明的文章を問わず苦手である。理科の実験レポートでも、事実と意見をきちんと分けて書くことや、図表をうまくレポートの中に入れられない生徒がかなりいる。

これは、国語科で教材を読む際に、内容理解が中心となり、構成や論理の展開に着目して読むことへの意識が弱いためであると同時に、読み取ったことを利用して、説明的文章をあまり書かせていなかったからではないかと考える。今回は、筆者の考えとそれを支える根拠(事実)に着目して読ませるとともに、豊富に提示されている図表の効果にも触れることで、「分かりやすい文章」「説得力がある文章」の書かれ方やその特徴を捉えさせたい。

### (3) 指導観

「図表を用いた説明的文章を書く」という単元を貫く課題解決的な活動を位置付けることで、主体的に子どもたちが学習に臨むことができると考える。第1次では、教科書教材を使って、文章と図表の関連を考えながら記録の文章を読む学習を行う。その後、第2次では、教科書教材をモデルとして、図表などを用いた説明的文章を書く学習を行うことで学習の定着を一層図りたいと考えている。

第1次の導入では、題名ともなっているミレーの「落ち穂拾い」を使い、生徒に興味、関心をもたせた後、学習全体の見通し、本単元に身につけさせたい力を明確にし、ゴールイメージをもたせたい。まず、図表や見出しを抜いた形の文章を読ませ、文章だけでは分かりにくい部分や、そこに必要な図表を考えさせることによって、図表の役割を理解させたい。次に、文章と図表との対応関係を適切に捉えるために、どの語(どの文)が図表中のどの部分に対応しているかを具体的に照らし合わせながら、考えることで読みを深めることができると考える。本時では、図表から分かること、文章から分かること、両方から分かることを整理させることで、図表の効果、文章と図表を関連させることでの分かりやすさ、説得力ということを捉えさせることができると考える。また、個人→グループ→個人という思考過程を踏むことで、一人一人の考えを深めることにつなげたい。そして、文章と図表とを関連させて読むことを通して学んだことから、記録文の特徴や図表の効果についてまとめ、そのことを活用して説明的文章を書かせたい。

第2次では、自分が決めたテーマに基づき、実際に説明的文章を書く場面を設定し、自分の考えを分かりやすく説明したり、説得力をもたせたりするための効果的な図表の使い方考えさせたい。

### 3 単元の目標

- ・文章と図表との関係を整理し、図表が果たしている役割や効果について、自分の考えを持つことができる。
- ・文章と図表との対応を考えて、分かりやすい文章を書くことができる。

### 4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・文章と図表との関連を捉えながら、説明の文章を読もうとしている。		・説明されている事実と図表との関係を整理し、文章の要旨を捉えている。 【(1) イ】 ・説明の文章を展開する上で図表が果たしている役割を捉え、その効果について自分の考えをもっている。 【(1) エ】	・文章を読んで意味の分からない語句を辞書で調べ、文脈上の意味を考えている。 【(1) イ (イ)】
・図表を用いて説明する効果などを考え、分かりやすい文章を書こうとしている。	・図表を示して説明する部分を意識しながら、段落を組み立てている。 【(1) イ】		・図表を説明するときに指示語や接続詞を工夫して使っている。 【(1) イ (エ)】

MEMO

## 5 指導と評価の計画（全6時間）

次	学習内容（時数）	評 価					
		関	書	読	言	評価規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元を貫く課題解決的な活動「図表を用いた記録の文章を書くこと」を知り、学習の見通しをもつ。</li> <li>図表や見出しを抜いた「シカの落ち穂拾い」を読み、どんな図表が必要かを考え、図表の役割を理解する。</li> </ul>			◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明されている事実と図表との関係を整理し、図表の役割を理解している。 【読（1）イ】</li> <li>文章を読んで意味の分からない語句を辞書で調べ、文脈上の意味を考えている。 【言（1）イ（イ）】</li> </ul>	ワークシート 観察
	<ul style="list-style-type: none"> <li>小見出しごとに内容をまとめ、筆者の調査の流れをつかむ。</li> <li>文章と図表との関連を捉え、全体の構成や文章の内容を理解する。</li> </ul>	○		◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>文章と図表との関連を捉えながら、説明の文章を読もうとしている。【関】</li> <li>説明されている事実と図表との関係を整理し、文章の要旨を捉えている。 【読（1）イ】</li> </ul>	ワークシート 観察
	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章と図表のどの部分に対応しているかを考えながら読み、図表の役割や効果を考える。（本時）</li> </ul>			◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>説明の文章を展開する上で図表が果たしている役割を捉え、その効果について考えている。 【読（1）エ】</li> </ul>	ワークシート 観察 発言
	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章と図表との関連を基に、文章における図表の役割や効果や整理し、記録の文章の特徴をまとめる。</li> </ul>	○		◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>文章と図表との関連を捉えながら、説明の文章を読もうとしている。【関】</li> <li>説明の文章を展開する上で図表が果たしている役割を捉え、その効果について自分の考えをもっている。 【読（1）エ】</li> </ul>	ワークシート 観察 発言
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明的文章を書くために、収集した材料を整理し、文章の構成を考える。</li> <li>文章に対応する必要な図表を考え、下書きを書く。</li> </ul>		◎	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章に適した図表を検討するとともに、文章と図表の関連を考えながら、説明的文章の下書きをしている 【書（1）イ】</li> <li>図表を説明するときに指示語や接続詞を工夫して使っている。 【言（1）イ（エ）】</li> </ul>	ワークシート 観察
	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明的文章を仕上げ、図表の使い方や説明の仕方等グループで意見交流を行う。</li> </ul>	○		◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>図表を用いた説明の効果などを考え、分かりやすい文章を書こうとしている。 【関】</li> <li>図表を示して説明する部分を意識しながら、段落を組み立てている。 【書（1）イ】</li> </ul>	ワークシート 観察 発言

## 6 本時の展開

本時の目標	図表と対応する文章を確認し、図表の役割やその効果について考えることができる。		
観点別評価規準	説明の文章を展開する上で図表が果たしている役割を捉え、その効果について考えている。【読（1）エ】		
準備物	電子黒板・ワークシート・掲示物・教科書・ホワイトボード・ペン		
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
1 前時の復習をし、本時の目標を確認する。	・前時までのワークシートを振り返り、文章と図表との対応関係を確認する。		
<b>【学習課題】</b> 文章、図表それぞれから読み取れることを捉え、図表の役割や効果について考えよう。			
2 文章と図表との関連を「図表からしか分からないこと」の観点で整理し、表にまとめる。 (図表と対応する文章の確認)	・個人でワークシートにまとめさせる。	・説明の文章を展開する上で図表が果たしている役割を捉え、その効果について考えている。 <b>【読（1）エ】</b>	ワークシート 観察 発言
3 整理したことを基に、気づいたことを交流する。	・個人で考えたことを基に、グループで意見を交流させる。自分の意見を述べる際には、根拠を示すように指導する。 ・整理したことから、図表が文章の内容をより分かりやすくするために使われていること押さえさせる。		
4 文章と図表との関連を整理し、表にまとめる。	・文章と図表との関係において、図表が文章の内容をより分かりやすくするために使われている場合だけでなく、文章が図表の解説になっている場合等、図表が使われている効果や筆者の意図について考えさせる。それぞれの図表の特徴にも留意させる。		
5 整理したことを基に、図表が果たしている役割や効果について考え、交流する。	・グループの考えをホワイトボードにまとめる。		
6 全体で交流した後、図表の役割、効果について自分の意見をまとめる。	・自己評価をさせる。		
7 自己評価表に記入する。			
8 次時の予告	・次時、記録の文章の特徴をまとめることを伝える。また、記録文を書く際に示す図表について考えておくことを伝える。		

